

株式会社早和果樹園

和歌山県有田市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

独自の搾り方法により高級ジュースを開発 ICT技術の導入による生産性向上

有田みかんの生産から加工・販売までを手掛ける6次産業企業。みかんの生産においては、先進的な栽培法や園地・品種毎に栽培・生育を見える化して収集したデータに基づくスマート農業を実践している。製品化においては、独自の絞り方法による高級ジュースを始めとして30超の製品の開発・製造を積極的に展開。販売面では、65万人の消費者との直接対峙による商品のアピールとともにカタログ・ネット販売にも注力し、有田みかんと自社の関連加工品の本物のおいしさを世間に広めてブランド力の向上を図っている。

- 所在地 和歌山県有田市宮原町新町275-1
- 電話/FAX 0737-88-7279 / 0737-88-7218
- URL <https://sowakajuen.com/>
- 代表者 代表取締役社長 秋竹 俊伸
- 設立 1979年
- 資本金 9,997万円
- 従業員数 70人



生産性向上

有田みかん及び自社関連加工品の付加価値の向上

濃厚な有田みかんを選別し、チョッパー・パルパー方式(皮をむき、薄皮ごと裏ごしする搾り方法。皮の油性分が入らないため長期間鮮度を保ち、まろやかでコクのある味に仕上がる)を採用し糖度12度以上の高級ジュース「味ーしぼり」を開発。消費者庁に「機能性表示食品」として登録される等、付加価値向上を図っている。また、ジュース、ゼリー、ジャム、調味料等30超の商品開発、製造、販売を推進。アンテナショップ・百貨店・高級スーパー及びカタログ・インターネット販売等の販路を築き、有田みかん及び自社の関連加工品のブランド力向上を図っている。



高付加価値の有田みかん関連加工品

ICTシステム導入による生産、経営管理の効率化を実現

品質管理の向上を目的として、光センサー選果機の導入、マルチシート被覆とドリップ(点滴)灌水手法により水分と養分をコントロールし光合成を最大に保つ「マルドリ方式」を導入し、甘さとコクが際立ち、酸味のバランスが取れた高品質のみかんを安定的に生産。また、大手IT企業や公設試験場と連携し、センサーやスマートフォンで生育情報を収集・蓄積・共有して、園地や品種毎に栽培や生育を見える化し、収集データから各種アドバイスを引出すICT農業システムを導入。経営面では受注・製造・発送・在庫・人事・財務を支えるICT経営管理システムを導入して、データ活用によるスマート農業に取組み、業務効率化を進めている。



ICTシステム導入による生産管理

幅広い世代を採用し活躍の場を提供

常勤社員の約40%が20歳代であるため、社内のコミュニケーションを活性化させ、若手社員が仕事を通じて活躍できる場を提供している。また、みかんをもぎる技術のように果樹には経験の差が表れやすいため、優れた技術を持つ高齢者や女性を積極的に採用し生産性を向上している。更に自社の6次産業化推進支援のため7戸の農家の高齢女性をメンバーとする別会社を設立し、モチベーションの向上と多様な人材の有効活用を図っている。



幅広い世代が活躍

ものづくり